

製品 **Can Get Signal[®]** を用いた実施例

ウェスタンブロットによる海馬内のNR2A (NMDA receptor subunit) の発現量の検出

データご提供 東京大学 医科学研究所 神経ネットワーク分野

実験方法

サンプル

マウス海馬のHomogenate

・希釈溶液: (1) 0.5% Skim milk in TBST (従来法)
(2) **Can Get Signal[®]** Solution 1

・反応条件: 4℃、O/N

ブロッキング方法

セミドライ法

〈2次抗体〉

・使用抗体: anti-rabbit IgG HRP
〈GEヘルスケア バイオサイエンス株式会社〉

ブロッキング

・ブロッキング溶液: 0.5% Skim milk in TBST
・反応条件: 室温、1時間

・希釈倍率: 1/4,000
・希釈溶液: (1) 0.5% Skim milk in TBST (従来法)
(2) **Can Get Signal[®]** Solution 2

抗体反応

〈1次抗体〉

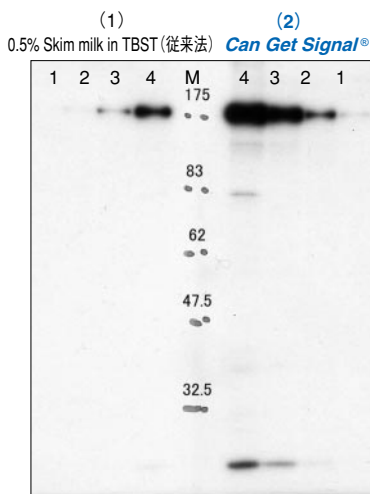
・使用抗体: Anti NR2A <Frontier Science>
・希釈倍率: 1/500

・反応条件: 室温、1時間

検出方法

ECL Plus <GEヘルスケア バイオサイエンス株式会社〉

結果



M: Prestained Protein Marker (Bio Labs)

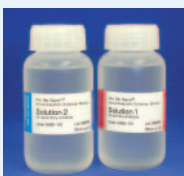
1: サンプル 1.25μg
2: サンプル 2.5μg
3: サンプル 5μg
4: サンプル 10μg

先生からのコメント

175kDaにあるバンドがNR2Aのバンドを示しています。およそ2~4倍くらい感度が上がりました。

この抗体はもともと特異性の高い抗体だったのですが、希釈倍率が低く、抗体の消費が激しかったので、**Can Get Signal[®]**を使えば、抗体の使用量を減らせそうなので、抗体の節約に役立ちそうです。

免疫反応促進試薬 **Can Get Signal[®]**



内容		Code No.	価格
Solution 1&2	各50ml	NKB-101T	¥10,000
Solution 1&2	各250ml	NKB-101	¥30,000
Solution 1	250ml	NKB-201	¥17,000
Solution 2	250ml	NKB-301	¥17,000

Can Get Signal[®]は、ウェスタンブロット解析やELISAなどの感度と特異性を改善する機能を有するバッファーです。

使用方法は、現在希釈液に用いているTBS-Tやブロッキング溶液を本溶液に変更するだけです(1次抗体をSolution 1で、2次抗体をSolution 2で希釈)。

⇒詳しくは<http://www.toyo.co.jp/bio>をご覧ください。